



# 風の子 太陽の子

学校だより 第13号

浜松市立相生小学校

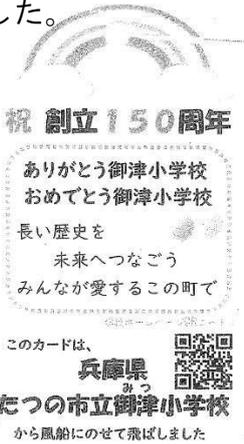
令和7年2月13日

## 人とのつながり

校長 小林 延和

先日、6年生の保護者からこんなお話をお聞きしました。

「兵庫県たつの市立御津小学校の児童が創立150周年を記念して飛ばした風船を自宅の庭で6年生の児童が拾い、そこに記載されていた連絡先に返事を出しました。」とのことでした。



早速その学校のホームページを調べてみると、創立150周年の記念行事の写真の中に「バルーンリリース」として、児童が全部で500個の風船を空高く飛ばしている写真が載っていました。飛ばされた風船は近隣だけではなく、遠くは千葉県にまで飛ばされたそうです。その中の一つが相生小の児童のもとに届けられたというのは、偶然ではありますが、素敵につながりだと思いました。兵庫県は今年阪神淡路大震災から30年を迎え、人との「つながり」を大切にしていこうとの思いも感じられました。今回のようなつながりはあまりないかもしれませんが、私たちも人とのつながりの大切にしていけるとよいと思いました。

人のつながりの大切さということで、もう一つお話を紹介したいと思います。

ある校長から「ピンクシャツ運動」のお話を聞きました。みなさんはこの運動をご存知でしょうか。始まりは2007年カナダのハイスクールです。ある男子生徒がピンクのシャツを着て登校したところ、からかわれ暴行を受けました。それを聞いた上級生二人が、いじめなんてうんざりだと思い、放課後にピンクのシャツを買い込み、その夜に、クラスメイトにメールで「明日、一緒に学校でピンクシャツを着よう！」と呼び掛けました。翌朝、二人がピンクシャツを袋に詰めて登校すると、驚きの光景を目にしました。二人が配るまでもなく、ピンクシャツを着た生徒が次々と登校してきたのです。シャツを用意できなかった生徒はピンクの小物を身に着けてきました。いじめをなくしたいという二人の思いは一夜で広まったのです。二人が呼び掛けた人数よりもはるかに多い生徒がピンクを身に着けてきました。いじめられた生徒は、ピンクを身に着けた生徒たちを見て、安どの表情を浮かべました。

この行動がきっかけとなり、その学校ではいじめがなくなり、この行動は瞬く間に世界中に広まっていきました。今では2月の最終水曜日をピンクシャツデーとして、「いじめ反対」のメッセージを送っています。

いじめはいじめた側、いじめられた側だけの問題ではなく、周りの友達たちが「いじめを許さない」との態度をとることで防ぐことができます。今年のピンクシャツデーは2月26日（水）です。2月5日の朝会で子供たちにこの話をしました。

私も2月26日にはピンクを身に着けて、「いじめ反対」の思いを児童に届けたいと思います。子供たちがピンクを身に着けることは難しいかもしれませんが、心にピンクのものを身にまとい、相生小が「いじめを許さない」学校になるようにしていきたいと思います。



浜松市立相生小学校  
キャリア教育を  
推進しています。

保健委員会が作成した新聞が静岡県学校保健新聞コンクールで入選しました。